

# BOOK



面接官の心を動かすノウハウをギョギョッと凝縮！  
受験者・面接官、どちらの立場で読んでも感銘を受ける。そんな良書が満を持して発売された。

かつて受験者だった私も、いつの間にか面接官を務める立場となった。もう12年前のことだ。ご縁に恵まれ、私は部下となって著者とめぐり逢った。心から尊敬できる著者の背中を間近に見て育った私は、こく

## 一発で受かる！昇任試験 面接合格完全攻略



工藤勝己著 学陽書房刊

自然に管理職を志した。著者の教えは私を支えてくれる大黒柱となり、目の前のすべてと日々真摯に向き合うことができている。

戦略的な面接票の書き方から試験当日さりげなく面接官の心をつかむコツに至るまで、私は著者から厳しくも温かいご指導を受けた。念願かなって管理職になれたのも著者のおかげ。感謝の気持ちは幾重言葉を重ねても言い尽くせない。

面接試験の厳しさは、論文試験とは異なり推敲(すいこう)がきかないことだ。面接官の質問をまっすぐに受け止め、瞬時に意図をかみ砕く。それを素直でまっすぐな言葉にして、面接官の心に響くように投げ返さなければならぬ。どのような工夫をすれば面接官の心に響くのか。本書はその秘訣をまるごと美しい写真絵画のように「超具体的」に解説してくれる。

面接官の心に響く答えをひねり出せるようになれば、昇任後あらゆる説得の場で必ず役に立つ。対住民、対議会ばかりではない。対部下、対上司、さらには対経営層。「この人なら」と相手から信頼される言葉を紡げるスキルは心強い武器になる。そんな「未来の可能性」や「人となり」を試される場が面接試験なのだ。

面接試験では、一つの話題を深く掘り下げ、矢継ぎ早に二の矢・三の矢・四の矢が飛ばされる。単なる付け焼き刃的な言葉かどうか、揺るぎない信念に基づく言葉かどうか、面接官なら容易に見抜くことができる。だからこそ、知識を深める努力だけにとどまらず人格を磨く努力も忘れないようにしたい。本書を読み、私はそんな決意を新たにしたい。定価2,500円

(葛飾区健康部生活衛生課  
長 松井美貴子)